瀬戸内オリーブ基金

Setouchi Olive Foundation

瀬戸内オリーブ基金とは

瀬戸内オリーブ基金は、当時日本最大規模といわれた産業廃棄物の不法投棄事件「豊島事件」の調停成立をきっかけに、建築家の安藤忠雄氏と、豊島事件弁護団長の中坊公平氏が呼びかけ人となって設立された NPO 法人です。2000 年の設立以来、瀬戸内の美しい自然を守ること、再生することを目的に活動をしています。

瀬戸内オリーブ基金の歩み

2000年　設立　助成プログラム開始
2003年　協賛企業ボランティア受け入れ開始
2007年　NPO法人へ組織変更
2009年　海底ゴミ問題の取り組み開始
2014年　ゆたかなふるさとPJ
2019年　ゆたかな海PJ始動。スポGOMI開始
2020年　豊島事件継承PJ始動

1 助成プログラム

2000年の設立当初から、瀬戸内海エリアで環境保全や再生活動を行う団体・個人に対して活動資金を助成しています。森・川・海と生き物を守る活動や環境学習の取り組みに対して、助成プログラムを展開しています。

1 2
3 4
5

1.瀬戸内海の自然を次の世
2.ゆたかなふるさと100年
3.瀬戸内エリアの各地でス
4.清掃活動で拾ったごみに
5.豊島事件の調停成立を記

2 豊島・ゆたかなふるさと100年プロジェクト

豊島は瀬戸内海国立公園の一部に指定されていますが、産業廃棄物の不法投棄により周辺の植生は破壊されてしまいました。破壊された植生を元の状態に戻し、国立公園として相応しい場所にするために、岡山大学と連携しながら、住民や多数の企業ボランティアの協力を得て取組みを続けています。

3 ゆたかな海プロジェクト

瀬戸内オリーブ基金では、2009年度から海底に大量に沈んでいる海ごみの問題に取り組んできました。海ごみ問題は、豊島の産業廃棄物と同じく大量廃棄の問題であり、私たちの便利で快適な生活が持続可能なのかが問われています。
スポーツごみ拾い（スポGOMI）、環境学習会の開催やボランティアとの海岸清掃など海ごみの回収と発生抑制に取り組んでいます。

4 豊島事件の継承

豊島事件をきっかけに日本は循環型社会に転換しようとしています。しかし時間の経過とともに事件の記憶は風化し、その意義と教訓は忘れ去られつつあります。
豊島事件の意義と教訓を次世代に引き継ぐために、豊島事件の紹介動画やパンフレットの作成、事件記録の保存や整備、資料館の改修などに取り組んでいます。

に引き継ぐために活動を続けている
の現場見学会の様子
OMIを実施
って考える様子（助成プログラム活動事例）
して植えられたオリーブからできたオイル

豊島事件について

瀬戸内海の豊かな自然に恵まれた豊島で日本最大級の産業廃棄物不法投棄事件が起こりました。豊島住民は、廃棄物の認定を誤り、業者の指導監督を怠った香川県を相手取り、公害調停を申請しました。2000年6月、住民と香川県との間で調停が成立し、香川県は廃棄物を撤去し、撤去した廃棄物は無害化することを約束しました。2017年3月、廃棄物の完全撤去が実現しました。2021年8月には汚染水が排水基準を満たし、2022年3月に処分地の整地が完了しました。地下水が環境基準を達成した後、住民に土地が引き渡されます。

YouTubeで「すぐにわかる豊島事件」公開中
もっと詳しく知りたい方はこちら ▶▶▶▶▶

photo:廃棄物対策豊島住民会議（上）、藤井弘（下）

上:1990年の不法投棄現場。山積みされた産廃と汚染水。
下:整地化が完了したが、元の自然にはまだ程遠い。

助成実績

助成総額（2023年3月時点）
約3億1千万円

助成実績
468件

植樹本数
約16万本

活動実績

参加ボランティア
1,500名以上

植生回復活動を始めている面積
3,980㎡

呼びかけ人よりご挨拶

建築家 **安藤忠雄**

1941年大阪生まれ。一級建築士。独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所設立。1997年から東京大学教授、現在、名誉教授。2000年から瀬戸内オリーブ基金理事。

美しいふるさとを子どもたちへ

20世紀の産業発展により、人々の生活は経済面では豊かになりましたが、環境破壊によりいくつもの負の遺産が生まれました。瀬戸内海でも、かつての美しい風景は各所で破壊されました。

失われた緑豊かな環境を取り戻すことで、この瀬戸内を、人と自然とが共存する美しいふるさととして次代を生きる子どもたちになんとか残していきたい。そんな思いを込めて、豊島の産廃問題で闘ってこられた中坊公平さんとともに、「瀬戸内オリーブ基金」を立ち上げたのは、2000年のことです。以来、地道に緑化活動を続けて来ました。

瀬戸内海は広く世界の海につながっています。海を美しくすることが森を育て、美しい森が美しい海をつくります。私たちが前世紀で失ったもの。それをしっかり認識し、取り戻す努力を続けていくためにも、今後ますます活動に力を注いでいきたいと考えています。

photo: 関野欣次

瀬戸内オリーブ基金を支援

瀬戸内オリーブ基金の活動は、みなさまのご支援によって支えられております。瀬戸内の自然を次の世代に引き継ぐために。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご支援の申込み、お問い合わせは右下 のQRコードからお願いいたします。

1 個人のご支援

継続的な支援につながる「毎年の寄付」と、ご希望のタイミングで支援する「今回の寄付」からお気持ちにあった支援方法をお選びいただけます。

2 法人のご支援

瀬戸内オリーブ基金では、企業・団体の皆様との協働によって、瀬戸内の豊かな自然を子どもたちに引き継ぐ活動をしています。各法人・団体様のご希望に合った支援方法をご提案いたします。ぜひ一度お気軽にお問い合わせください。

※瀬戸内オリーブ基金は、香川県の認定NPO法人です。確定申告を行うことにより、個人・法人ともに税制上の優遇措置が受けられます。

問い合わせ先

NPO法人瀬戸内オリーブ基金

Tel：0879-68-2911　Fax：0879-68-2912
E-mail：info@olive-foundation.org
〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦3837-4

www.olive-foundation.org